

Q2

ガンマグロブリン製剤投与後、どれくらいの間隔をあけて麻しん風しん混合ワクチン（麻しんワクチン，風しんワクチン）を接種したらよいでしょうか。

A

輸血又はガンマグロブリン製剤の投与を受けた人は、3カ月以上接種を延期してください。血液またはガンマグロブリンに含まれる麻疹あるいは風疹に対する抗体のためワクチンの効果が減弱する可能性があるためです。また、川崎病等の治療でガンマグロブリン製剤の大量療法（200mg/kg以上）を受けた人も同様の考え方で6カ月以上（麻疹感染の危険性が低い場合は11カ月以上）接種を延期してください。（参照 p14, Q9）風しんワクチンに関する明確な規定はありませんが、おおむね同様に考えればよいでしょう。